



【発行】社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052  
〒901-0155 那覇市金城3-5-4 <E-mail> info@nahasyakyo.org <URL> http://www.nahasyakyo.org

QRコード  
読み込み



※福祉教育の推進  
市内の小中学校において、車いすユーザーや視覚障がい者が当事者としてのお話、社協職員が福祉について講話を行ったり、車いす体験やアイマスク体験などの体験学習なども実施しています。



※ふれあいいきいきサロンへの助成  
市内の高齢者や子育て世代の居場所づくり(サロン活動)の支援を行っています。

## — 社協会費って何? —

はいたい!社会福祉協議会(社協)は、身近な福祉課題を地域の皆様と共に考え、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、日々活動を行っています。社協が進める事業には、高齢者や障がい者、子どもたちの居場所づくり、ボランティア活動の推進や福祉教育の推進などがあります。皆様からいただく会費や募金が、これから事業を行うにあたり、大切な財源となっています。ご協力の程、よろしくお願いいたします。(企画総務課:宮里)



会員名:銘苅新都心自治会 会員種別:戸別会員 代表者:前原信達



手づくりいのほり設置  
(てんとうむし公園)



ふれあいユンタク会  
(銘苅小地域連携会)

Q:自治会について教えてください。

A:私たちの自治会は那覇新都心地区に位置し、北は安謝川、南は新都心公園が立地する落ち着いた住宅地です。「銘苅古墓群」や「シングルガー」などの史跡があり、組踊「銘苅子」(羽衣伝説)の地としても有名です。2003年9月に、住みよい地域環境を築いていくために有志で自治会を立ち上げました。会員は現在205世帯です。

Q:他には負けない!という自治会の特徴ってありますか?

A:若い自治会ですが着実に活動の歴史を積み重ねてきています。保安灯の設置(94灯)や自治会まつり(銘苅はごろも祭り)、地域見守り活動、学校や地域団体との連携など、安心安全で住み良い、楽しい地域づくりに取り組んでいます。昨年は自治会設立15周年記念誌を取りまとめ、全会員がこれまでの歩みを共有しました。

Q:社協の会員になってもらっていますが、社協との関わりはどのようなことがありますか?

A:毎年、社協の助成金を活用して「ふれあいユンタク会」を開催しています。地域の高齢者をお招きしてミニ講演会のあと軽食を取りながらユンタクや紙芝居で盛り上がり、健康体操で閉じるなど、学んで楽しい集いになっています。また、地域見守り隊や囲碁クラブのサロン登録でも社協には大変お世話になっています。

## もくじ

社協会費って何? .....	1	活動アラカルト .....	6
平成30年度事業報告 並びに決算報告 ..	2 ~ 4	お知らせ .....	7
令和元年度事業計画 .....	5	ボランティア情報 ..	8



## 1. 組織の基盤整備

- (1) 会務の運営
  - ①理事会(3回)・評議員会(3回)・評議員選任解任委員会(1回)
  - ②三役会議等開催(三役会議18回、業務調整会議48回、事業・企画検討会議37回、全体職務会3回)
  - ③各種部会・委員会の開催(第三者委員会1回開催)
- (2) 会員の拡充強化
  - ①正・賛助会員の加入拡大(10,195件)
- (3) 福祉活動の財源の確保
  - ①赤い羽根共同募金(22,431,423円)再掲
  - ②歳末助け合い募金(11,530,150円)再掲
  - ③チャリティー事業等の推進(3,085,750円)
  - ④卓上募金活動の推進
  - ⑤自動販売機の設置
  - ⑥不要入れ歯回収ボックスの設置
- (4) 事務局体制の基盤整備
  - ①労務環境整備等の調査研究 外間経営労務管理事務所(顧問契約)
  - ②法律問題相談及び学習会 寺田弁護士事務所(顧問契約)
  - ③安全衛生委員会(11回)
  - ④人事諸制度策定部会(外部アドバイザー活用 8回開催)
- (5) 研修の推進
  - ①役職員研修会の開催(4回)健康講座 貯金運動(9回)
  - ②各種研修会への参加派遣(9回)
  - ③人材育成研修の開催(2回)
- (6) 那覇市地域福祉活動計画評価推進委員会(開催なし)
- (7) 各種規程・規則等の整備(4件)
- (8) 那覇市社会福祉協議会65周年(法人設立50周年)記念推進事業
  - ①周年記念事業推進会議と部会部門を設置(4部会)
- (9) 定期監査(1回)
- (10) 正規職員採用試験(1名採用)
- (11) 那覇市民生委員児童委員派遣(1名)

## 2. 地域福祉活動の推進

- (1) 那覇市安心生活創造推進事業 地域の福祉ニーズを把握するために必要となる事業
  - ①生活課題検討・調整事業
    - ・地域見守り支援ネットワーク活動の推進(見守り隊新規5ヶ所)累計42ヶ所
    - ・見守り会議の開催(24ヶ所)
  - ②地域支援活性化事業
    - ・地区コーディネーターの四行政区毎の配置(リーダー4名、地区コーディネーター4名)
  - ③住民懇談会の推進(四者会議2回開催、住民懇談会6回)
- (2) 地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図るために必要となる事業
  - ①抜け漏れのない実態把握事業
    - ・民生委員・児童委員活動の支援(毎月定例会への参加)
    - ・住民組織活動の支援 既存組織活動の活性化
    - ・地域福祉基金助成事業の活用「なは見守りフォーラム2019」参加者127名
  - ②抜け漏れのない支援実施事業
    - ・友愛訪問活動 緊急医療情報キット配付(462世帯、579名、平成22年度から累計総配付数3,013世帯3,618名)
    - ・見守り訪問ティッシュ配布安否確認支援事業(延682世帯)
    - ・地域見守り交流事業(16回)
    - ・ふれあい・いきいきサロン事業(新規4ヶ所開設)現在54ヶ所開設
    - ・那覇市福祉協力員養成講座の開催(3回開催、参加者36名)
- (3) 地域におけるインフォーマル活動の活性化を図るための事業(実績なし)
- (4) その他地域福祉の推進を図るために必要となる事業
  - ・地域自主防犯防災活動の支援 防災講座4回
  - ・小学校校区コミュニティ協議会等への参画(与儀、石嶺、若狭、曙、銘苅小学校コミュニティ協議会)
- (5) 地域ふれあいデイサービス事業の実施(市受託)
  - 延参加者59,740名、ボランティア18,277名 合計78,017名(全126ヶ所)
  - ・新規開所2ヶ所(安謝緑会・鏡原がんじゅうの会)



- ・地域ふれあいデイサービス事業20周年事業 第6回敬老の祝い 開催(9月)
- ・運営協議会全体交流会 開催(3月)
- (6) 生活支援コーディネーター(生活支援・体制整備事業)
  - ①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起に関する業務
    - ・那覇市社協HP地域支えあい訪問型サービス(個人登録型)事業紹介を開設
    - ・第1層協議体へ課題提起に向けた調査
  - ②多様な主体等への協力依頼などの働きかけに関する業務
    - ・生活支援サポーター養成講座及び訪問型サービスA従事者養成研修 周知協力依頼
  - ③関係者のネットワーク化に関する業務
    - ・意見交換会及び情報交換
  - ④目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一に関する業務
    - ・第1層、第2層生活支援コーディネーター合同連絡会(3回)と地区別連絡会(16回)
    - ・那覇市と定例会議(5回)
  - ⑤生活支援サービスの担い手の養成に関する業務
    - ・訪問型サービスA従事者養成研修(2回・修了者17名)
    - ・生活支援サポーター養成講座(3回 登録者26名)
    - ・団体型 生活支援サポーター養成講座(1回 登録希望者18名)
    - ・第2回生活支援サポーターお茶会
  - ⑥第1層協議体運営に関する業務
  - ⑦第2層協議体運営に関する業務
- (7) 地域支えあい訪問型サービス事業(個人登録型)業務
  - ①従事者の登録・管理に関する業務
  - ②利用者の受付及びケアプランナー等との利用調整に関する事
  - ③利用者と従事者のマッチング(12件)
  - ④従事者への指示及び情報の伝達
  - ⑤従事者の業務実施状況の把握等
  - ⑥利用者及び従事者の個人情報に係る書類等の管理
  - ⑦従事者に関する活動費の支払い業務
  - ⑧那覇市及び地域包括支援センター等との連携

## 3. ボランティア活動・福祉教育の推進

- (1) ボランティア・市民活動センターの運営
  - ①那覇市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催(1回)
- (2) 啓発広報活動の推進
  - ①ボランティア啓発活動事業の推進
  - ②「那覇市社協ボランティア・市民活動センター情報」誌の発行(8回発行、40,000部)
  - ③ボランティアBOX事業(収集ボランティア)の推進(配布先30件 換金額409,415円)
  - ④第7回うるく童まつり「まじゅんあしばな」の開催(ボランティア沖縄尚学高等学校38名)
- (3) ボランティアコーディネーター活動の推進
  - ①ボランティア活動の需給調整(個人新規登録71名、団体登録54団体、コーディネーター1,790件17,558名)24時間テレビ「愛は地球を救う」への協力
  - ②歳末おそうじ隊事業の実施(対象19件 支援機関15機関 ボランティア108名)電気点検・寝具洗浄の実施
  - ③紙オムツプレゼント事業の実施(40名へ贈呈)
- (4) ボランティア養成及び研修事業の推進
  - ①ボランティア養成講座の開催(養成講座、研修会等参加8回)
- (5) ボランティア団体活動の支援助成
  - ①ボランティアグループ活動支援助成(7団体300,000円)
  - ②ボランティア活動関係機関連絡会の開催(4団体参加)
  - ③ボランティア保険の加入促進(加入244件12,063名 事故処理0件)
  - ④ボランティアサロンの管理運営(ボランティア室188件3,453名 ボランティアサロンまわし544件7,514名)
- (6) ボランティア学習・福祉教育活動の支援
  - ①那覇市学校ボランティア学習推進協議会活動の支援助成及び事務局運営
    - ・定例役員会3回・総会1回・助成7校 110,791円
    - ・街頭募金運動への参加 赤い羽根募金23校991,437円、歳末20校1,345,421円
    - ・活動実践者表彰20名、57団体
    - ・福祉用具貸出事業として(車イス21件、アイマスク16件、高齢者模擬体験7件)
  - ②福祉教育・福祉体験学習活動の支援(13校23回実施)福祉講話、疑似体験等実施



- (7) 災害救援ボランティア活動の推進
  - ・地域自主防犯防災活動の支援
  - ・災害ボランティアセンター運営支援・緊急小口資金特例支援（派遣先：呉市・広島市 派遣者：2名）
- (8) 企業の社会貢献活動の推進（ボランティアBOX事業贈呈式10件、電気設備無料点検1件、リフォームボランティア1件、清掃活動1件）
- (9) 第7回うるく童まつり“まじゅんあしばな”の開催

#### 4. 広報活動の推進

- (1) 社協会報「社協だより」の発行（1回10,000部、年4回発行）
- (2) 第42回那覇市社会福祉大会の開催（市補助）（表彰52名12団体 参加者364名）
- (3) インターネットホームページの運用（URL <http://www.nahasyakyo.org>）とリニューアルバナー広告協力企業（2件）
- (4) 移動広報車の活動推進
- (5) 「沖縄県かりゆし長寿大学校」の推薦協力（2名推薦）

#### 5. 福祉関係団体活動の支援助成

- (1) 福祉関係団体等活動の支援助成
  - ・赤い羽根共同募金助成（68件5,878,000円）
  - ・歳末たすけあい募金助成（74件1,640,000円）
- (2) 福祉関係団体連絡会の開催
  - ・共同募金助成団体連絡会（開催なし）
  - ・単位民児協定例会（随時）
  - ・障がい者関係団体
  - ・那覇市身体障害者福祉協会事業への連携・共同
- (3) 相談支援事業関係事業者連絡会への参画
- (4) 介護保険事業関係事業者連絡会への参画
  - ・訪問介護ネットワークなは研修会1回
  - ・通所介護ネットワークなは研修会2回
  - ・訪問介護・通所介護ネットワークなは合同研修会2回

#### 6. ふれあいのまちづくり事業の推進

- (1) ふれあい福祉相談事業の運営
  - ①相談員 専任相談員の配置1名、相談員6名（相談件数777件）
  - ②専門相談員9名（相談件数：司法書士9件・弁護士15件）

#### 7. 生活困窮者に対する相談支援

- (1) 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託）（相談件数 6,409件）
  - ①生活福祉資金貸付（138件、貸付金額 42,397,408円）
- (2) 助け合い金庫貸付事業の整理 事業終了
- (3) 法外援護活動の実施
  - ①緊急支援提供（196件、物品3,536品、フードバンク活用61件）
  - ②那覇市協フードドライブ（寄贈160件個数3,776品）
    - ・子育て支援関係（19ヶ所、食料提供294件）
- (4) 重度心身障害者医療費等貸付事業の実施（市補助）（584ヶ所、延71,765件、貸付医療費総額461,999,907円）

#### 8. 権利擁護の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託）
  - ・福祉サービス利用支援・日常的金銭管理、書類等預かりの実施（95件）
  - 相談援助件数：4,454件・利用者件数102件・新規契約数7件・解約数14件
- (2) 生活保護世帯金銭管理支援事業の推進（市受託）
  - ・福祉サービス利用支援・日常的金銭管理、書類等預かりの実施（相談援助4,136件）
  - 利用者件数：90件・新規契約数：3件・解約数14件
- (3) 法人後見事業の実施（受任件数11件・支援活動件数：291件）

#### 9. 障がい者相談支援事業の推進（市受託）

- (1) 那覇市障がい者相談支援事業（市受託）
  - ①障がい者総合相談の実施（支援件数延1,954件）ピアサポーターによる相談援助の実施（支援件数延117件）
  - ②相談支援機能強化事業の実施
  - ③那覇市障がい者自立支援協議会運営
  - ④住宅探しに関する相談（申請件数44件）
- (2) ピアサポート事業 当事者の交流会活動（延104回・331名）、講話（3件）
- (3) 一般相談支援事業（相談なし）
- (4) 特定相談支援事業（新規・更新及びモニタリング805件）
- (5) 障害児相談支援事業（新規・更新及びモニタリング285件）

#### 10. 子育て支援事業の推進

- (1) 子育てサロン活動の支援（5件）
- (2) ファミリーサポートセンター事業の実施（市受託）（会員数2,858名 延利用件数8,140件）
- (3) 病児・緊急対応強化事業（延利用件数234件）
- (4) ひとり親等の利用支援事業の実施（サポート券利用枚数511枚）
- (5) 子どもの支援団体等へのサポート事業
  - ・居場所づくりを支える運営連携会議の設置（むつみふれあい広場・すこやか宇栄っ子・のびのび広場）
  - ・子どもの居場所支援団体代表者連絡会（6月・3月）
  - ・自主開催子どもの居場所新規立ち上げ支援（16箇所）
  - ・企業・団体等の支援のサポート活動（那覇南ロータリークラブ/社会福祉法人そてつの会/社会福祉法人からし種の会）
- (6) 育児支援家庭訪問事業の実施（市受託）（利用者348名 派遣件数1,786件）
- (7) 那覇市つどいの広場事業の実施（市受託）

#### 11. 在宅福祉サービス活動の推進

- (1) リフト付きバス運行事業の実施（市受託）（2,093件）

#### 12. 介護サービス事業の推進

- (1) 介護保険居宅介護支援事業所の経営（予防231件 介護1,323件）
- (2) 介護保険指定通所介護事業の経営
  - ・デイサービスあしびな（通所介護）（延利用人数7,528名）
- (3) 介護保険指定訪問介護事業の経営
  - ①ホームヘルプステーションわかば（訪問介護）（延利用回数8,679回）
- (4) 障がい福祉サービス事業所の経営（延利用回数25,832回）
- (5) 移動支援事業の実施（市受託）（延利用回数1,388回）
- (6) 一般旅客運送事業（福祉有償移送事業）の実施（613件）
- (7) 介護保険・障がい福祉サービス制度外サービスの実施（42件）
- (8) 介護保険・障がい福祉サービス事業経営検討会議の開催（12回開催）
- (9) 安全管理委員会の運営
- (10) ホームヘルパー養成研修事業（受講修了者33名）

#### 13. 那覇市総合福祉センターの指定管理運営（市受託）

- (1) 総合福祉センターの管理運営（延利用者数91,338名）
- (2) 金城老人憩の家の指定管理運営（延利用者数24,396名）
- (3) 金城児童館の管理運営（延利用者数40,270名）
- (4) ボランティア室の管理運営（延利用者数3,447名）
- (5) 社会福祉センターの管理運営

#### 14. 那覇市老人福祉センター及び老人憩の家の指定管理運営（市受託）

- (1) 那覇市識名老人福祉センターの指定管理運営（延利用者数36,962名）
  - ①教室、講座の開催と同好会活動の支援（8講座・19同好会）
  - ②地域見守り活動（延人数107名）
  - ③実習生受入（115名）
  - ④識名地域福祉まつり参加者（2日間 3,682名）
- (2) 那覇市小禄老人福祉センターの指定管理運営（延利用者数25,696名）
  - ①教室、講座の開催と同好会活動の支援（11講座・28同好会）
  - ②地域見守り活動（延人数80名）
  - ③実習生受入（120名）
  - ④うるく地域ふれあい祭り参加者（2日間2,830名）
- (3) 那覇市金城老人憩の家の指定管理運営（再掲）（延利用者数24,396名）
  - ①教室、講座の開催と同好会活動の支援（9講座・18同好会）
  - ②地域見守り活動（延人数61名）
  - ③実習生受入（75名）
  - ④金城地域福祉まつり参加者（1,500名）



#### 15. 那覇市児童館の指定管理運営

- (1) 那覇市識名児童館の指定管理運営（延利用者数27,556名）
  - ①児童館だよりの発行（1回2,300部12回発行）
  - ②行事・活動件数（77件）



- (2) 那覇市小禄児童館の指定管理運営(延利用者数26,937名)
  - ①児童館だよりの発行(1回3,000部12回発行)
  - ②行事・活動件数(59件)
- (3) 那覇市金城児童館の指定管理運営(再掲)(延利用者数40,270名)
  - ①児童館だよりの発行(1回2,300部12回発行)
  - ②行事・活動件数(59件)

## 16. 沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会の運営

- (1) 赤い羽根共同募金運動の推進(22,431,423円)
- (2) 歳末助け合い運動の推進(11,530,150円)

## 17. その他の事業

- (1) 南部地区社会福祉協議会連絡協議会への参画(27回)
- (2) マイクロバス運行事業の実施(135件)
- (3) 物品等貸し出し事業の実施(38件)
- (4) 社会福祉士援助実習生の受け入れ(7名)
- (5) 実習生・インターンシップ等の受入れ
  - ・介護福祉士実習の受け入れ(14名)
  - ・就業体験(11名)

## 平成30年度決算(単位:円)

資金収支計算書	
事業活動収入計①	620,178,726
事業活動支出計②	615,437,470
事業活動収支差額③=①-②	4,741,256
施設整備等収入計④	0
施設整備等支出計⑤	3,938,554
施設整備等収支差額⑥=④-⑤	△3,938,554
その他の活動収入計⑦	17,451,887
その他の活動支出計⑧	7,406,417
その他の活動収支差額⑨=⑦-⑧	10,045,470
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	10,848,172
前期末支払資金残高⑪	55,250,514
当期末支払資金残高⑫+⑪	66,098,686

事業活動計算書	
サービス活動収益計①	618,975,219
サービス活動費用計②	627,682,151
サービス活動増減差額③=①-②	△8,706,932
サービス活動外収益計④	1,202,507
サービス活動外費用計⑤	0
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	1,202,507
経常増減差額⑦=③+⑥	△7,504,425
特別収益計⑧	0
特別費用計⑨	154,443
特別増減差額⑩=⑧-⑨	△154,443
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	△7,658,868
前期繰越活動増減差額⑫	51,398,884
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	43,740,016
基本金取崩額⑭	0
基本金組入額⑮	0
その他の積立金取崩額⑯	17,451,887
その他の積立金積立額⑰	145,697
次期繰越活動増減差額⑱=⑬+⑭-⑮+⑯-⑰	61,046,206

貸借対照表			
借方		貸方	
流動資産	119,307,617	流動負債	64,504,894
固定資産	339,213,367	固定負債	95,734,960
		基本金	3,000,000
		在庫補助金等特別積立金	52,658
		その他積立金	234,182,266
		次期繰越活動収支差額	61,046,206
計	458,520,984	計	458,520,984

財産目録			
流動資産	119,307,617	流動負債	64,504,894
固定資産	339,213,367	固定負債	95,734,960
資産合計	458,520,984	負債合計	160,239,854
		純資産	298,281,130

## 令和元年度那覇市社会福祉協議会事業計画(要点)

本会は、下記の理念に基づいて、行政をはじめ関係機関団体と連携し、今年度からスタートする、那覇市『第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画』に沿って、地域の中核的な推進団体として住民主体の市民に信頼される社協像を目指して着実に取り組みます。

平成29年度社会福祉法改正では、各省庁の横断的な連携を可能とした政策を打ち出し住民の生活課題に柔軟な対応を図るとして地域住民や関係機関との連携が盛り込まれました。

また、社会福祉法人に対し、組織ガバナンスの強化、事業運営の透明性、財務規律の強化に加えて、公益的な取り組みの責務が位置づけられ、本会では一昨年法人設立50周年を機に、役職員で以って組織基盤の強化を目的に課題解決推進会議を開催してきました。そこで積み上げた協議内容を第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進を裏付ける組織体制づくりとして策定に盛り込み、本年度は人材育成と経営基盤(財源対策)の2本柱の計画を策定していきます。本法人の理念に合致しているかを基準に法人全体の事業精査を行い、温故知新、原点回帰の発想で、既存事業の蘇り、現状を見つめる確かな目とそれに応える創造力をもって課題解決に取り組んでいきます。

「安心生活創造推進事業」(市受託)は6年目となります。CSWを中心に山積する福祉課題に対応するべく、多様な日常生活上の支援体制の充実強化を図っていきます。更に子育て支援、貧困の連鎖を防ぐための事業として子ども支援団体をサポートする事業を実施するなど、子育て世代、障がいのある世帯、お年より世帯を始め、様々な地域の福祉ニーズや生活課題の解決に向けて取り組んでいきます。

職員一同、本会の強みを活かした地域づくりの推進役としての役割を肝に銘じて地域福祉事業に邁進していきます。

### 1. 本会理念

「市民の笑顔あふれる支えあいのまちなは～信頼される社協を目指して～」

### 2. 基本方針(重点目標)

#### 1. 社協組織の基盤強化

- 1) 社協経営基盤強化計画の策定
- 2) 人材育成と人材確保(適正な人事評価の実施と管理職研修強化)
- 3) 積立金(介護等、財政)、基金(社会福祉)の用途の検討

#### 2. 安全安心で安否確認を推進する地域生活支援体制の確立

- 1) 第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進
- 2) 地域福祉活動の推進(地域共生社会の実現に向けたTHANKS(サンクス)運動の推進)
- 3) 生活支援体制整備事業の推進(生活支援コーディネーター配置)
- 4) ボランティア市民活動センターの支援体制の強化
- 5) 総合相談体制の確立

①権利擁護支援センター(仮名)の整備設置を目指して

6) 生活困窮者自立支援制度の対応と低所得者等への支援

7) 災害時における支援体制の構築

8) 子どもの貧困対策(こどもを中心とした地域づくり)における支援体制の拡充

#### 3. 介護サービスの安定的な経営体制と地域福祉ニーズの視点に立った経営体制構築

1) 介護保険・障がいサービス事業等の安定的な経営と財政基盤の充実

#### 4. 総合福祉センター等、指定管理施設の施設機能を活用した地域福祉活動の推進

- 1) 総合福祉センター指定管理運営
- 2) 小禄・識名(老人福祉センター・児童館)の指定管理運営

### 3. 事業実施の視点

- 1. 人づくり(人材育成)
- 2. 地域づくり
- 3. 財源づくり
- 4. 拠点づくり



## 4. 組織体制

改正労働法に伴い全職員の就業規則を整備した。非正規職員は有期から無期雇用(常勤19名・パート14名 計33名)とし、交通費と夏季休暇を付与した。今後も人材不足と質の確保が求められる中、福利厚生充実を図っていく。

本年度も4課体制を維持する。企画総務課は会務の運営の強化と共に、発展計画財源対策部会を設け、財源対策と広報活動を一体化したガバナンスの強化を図る。また、地域福祉課と連携し地域見守り隊組織や、まちづくり協議会に社会福祉施設が参画していることから、それらの法人との実践の積み上げを通じた連携による協議の場作りを目指していく。

地域福祉課は、包括圏域が昨年より12圏域から18圏域に増設されたことを鑑み、所管のCSWの体制整備強化に向けて市当局と十分な協議を図り、コーディネーター嘱託1名を正規職員とし、ある一定の人員体制を整備された。ボランティア振興事業も強化していく。

在宅福祉課は、昨年より介護事業部門と委託部門の両方に主査職を2名配置し執行管理体制を強化した。本年度も継続した体制を維持する。

福祉施設課は、平成31年度～平成35年度指定管理者として選任され新たなスタートを切る。引き続き円滑な運営・課題解決に向けて適正な対処を図り、拠点整備を踏まえた環境整備を目指す。

## 5. 新規事業

- ①第4次社協強化発展計画策定(特に財源等の経営基盤整備計画に着手)
- ②日常生活自立支援事業の市町村化(基幹型で支援していた南城市、南風原町、与那原町がそれぞれ事業化)法人後見をゴールとした権利擁護センター(仮称)を目指す。

## 6. 拡充事業

- ①子どもの支援団体をサポートする事業 パート職員1名の増
- ②生活福祉資金貸付事業 常勤相談員1名増(相談償還業務強化)
- ③CSW・生活支援CN 常勤1名減(4名～3名)を正規職員1名増(6名から7名)に拡充 \*地域福祉計画において、18福祉圏域毎にCSWを配置目標におく。

## 7. 重点方策(経営の舵取りの方法)

### 1. 社協組織の基盤強化

#### 1) 第4次社協強化発展計画(経営基盤強化計画の策定)

一昨年法人設立50周年を迎えるにあたって社協の課題解決推進会議を昨年まで引き続き2年間、役職員を会長として社協法人における組織課題解決推進会議として取り組んできた。そこで積み上げた協議内容を第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進を裏付ける組織体制づくりとして策定に盛り込む。

#### 2) 人材育成と人材確保の強化(適正人事配置と人事評価の実施と管理職研修の強化)

昨年度は人事考課の仕組みづくりとして人事評価の要綱を策定し本会理念の達成に向けて職員行動原則を策定した。

本年度は、管理職を中心に、適正な人事配置と人事評価の実施に向けて、継続的に職員を育成させる仕組み構築に向けて取り組んでいく。

### 職員行動原則

- 一. 私たちは地域住民に寄り添い、柔軟な姿勢で対応します。
- 一. 私たちは使命感を持って、新たなことにチャレンジします。
- 一. 私たちは仲間の個性を認め合いチームワークで対応します。
- 一. 私たちは福祉サービスの質の向上と自己研鑽に努めます。
- 一. 私たちは感謝と笑顔を大切にします。

### 3) 積立金(介護等、財政)、基金(社会福祉)の使途の明確化(財政運営の適正化に向けて)

第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進を鑑み第4次協強化発展計画の策定において検討する。

### 2. 安全安心で安否確認を推進する地域生活支援体制の確立

- 1) 第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進
- 2) 地域福祉活動の推進(地域共生社会の実現に向けたTHANKS(サンクス)運動の推進)

#### ①安心生活創造推進事業の充実強化

#### ②民生委員児童委員活動の活動支援と担い手育成

#### ③関係団体との懇談会

#### ④自治会単位における地域見守り隊の結成促進と活動の充実

### 3) 生活支援体制整備事業の推進(\*5生活支援コーディネーターの配置)

#### 4) 総合相談体制の確立

#### ①ふれあい福祉相談室の充実

#### ②権利擁護支援センター(県受託の日常生活自立支援事業・那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業・法人成年後見推進事業の総合支援の総称) 仮名の設置を目指して

#### ③障がい者生活支援センターゆいゆいの活動充実

#### 5) 生活困窮者自立支援制度の対応と低所得者等への支援

#### 6) ボランティア市民活動センターの支援体制の強化

#### 7) 災害時における支援体制の構築

#### 8) 子どもの貧困対策(地域づくり)における支援体制の整備

※本会は平成28年10月より那覇市の補助事業として「子どもの支援団体へのサポート事業」(愛称「糸」)を通して、子ども食堂や学習支援を行っている団体を支援し団体同士の連絡会や研修会を開催することで意識を高めあい、子ども達にとって安心して通える居場所づくりを目指していく。

### 3. 介護サービスの安定的な経営体制と地域福祉二つの視点に立った経営体制構築

#### 1) 介護保険事業等の安定的な経営と財政基盤の充実

### 4. 総合福祉センター、指定管理施設の施設機能を活用した地域福祉活動の推進

#### 1) 総合福祉センター指定管理の適切な受託に向けた取り組みについて

#### 2) 小禄・識名(老人福祉センター、児童館)の指定管理運営

総合福祉センターと同様に地域福祉を推進していく拠点施設として担い、市民福祉の向上を図る。

以上、社会福祉を取り巻く環境が厳しい状況において、本会の抱える諸課題や様々な社会変動等について考慮しながら、役職員が一丸となって共通認識のもと那覇市地域福祉計画の基本理念である「赤ちゃんからお年寄り みんなが主役 なはのまち ～支え合い あんしん育む ゆいまる～」の実現にむけて、那覇市社協地域福祉活動計画に沿った事業の着実な実施に取り組む。

## 令和元年度那覇市社会福祉協議会 予算

### 収入の部

勘定科目(大)	令和元年度予算額(円)	構成率%
1 会費	7,000,000	1.0%
2 寄付金	7,500,000	1.1%
3 共同募金	17,148,000	2.5%
4 市補助金	48,935,000	7.0%
5 市受託金	285,609,000	41.0%
6 県受託金	24,539,000	3.5%
7 介護保険・障害福祉サービス	258,686,000	37.2%
8 事業収入・雑収入・利息収入・その他収入	12,045,000	1.7%
9 拠点区分間繰入金収入・基金・繰越金等	34,865,000	5.0%
合計	696,327,000	100.0%

### 支出の部

勘定科目(大)	令和元年度予算額(円)	構成率%
1 人件費支出	501,097,000	72.0%
2 事務費支出	27,674,000	4.0%
3 事業費支出・固定資産支出	136,920,000	19.7%
4 分担金・助成金・負担金・借入金利息	10,123,000	1.5%
5 拠点区分間繰入金支出	8,500,000	1.2%
6 積立預金積立	150,000	0.0%
7 その他の支出・予備費	11,863,000	1.7%
合計	696,327,000	100.0%



## 認証第45号「あけぼの地域見守り隊」結成!

6月4日、大雨の降る中、那覇第一民児協圏域では初めてとなる「あけぼの地域見守り隊」の結成式が盛大に執り行われました!

曙地区では、体操サークルや子ども食堂などの活動を通して、日頃から地域住民同士のつながりづくりが活発に行われていますが、今回の「あけぼの地域見守り隊」結成を機に、さらにそのつながり・見守りの輪を広げていこうと考えています。「無理なく!無駄なく!楽しく!」を

モットーに、私たち社協も協力して見守り活動を進めていきますので、曙地区にお住まいの方や関わりのある方、皆さんも活動に参加してみませんか?一人ひとりの“声かけ”や“気づき”が、大きな力となります。お気軽にお問い合わせください!(那覇地区CSW:保良)



## 初開催の「自主開催の子どもの居場所代表者連絡会」で活発に意見交換!



5月24日、公的な資金援助を受けずに子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体の代表者が一堂に会しての初めての意見交換会を行いました。那覇市内での自主開催の子どもの居場所が急速に増え、現在16団体が活動しています。今回の会合では、事前アンケートでお答えいただいた内容を基にお互いの状況や活動内容の情報交換と、フードロス減らす取り組みや不審者対策などについて積極的な意見を交わし有意義な場となりました。地域の皆様、温かい応援を引き続きよろしくお願いたします。

尚、「糸」では、今後とも居場所同士の連携強化と地域との繋がりを、新規立ち上げや運営支援に取り組んでいきますので、皆様からのご意見・ご提案等をお寄せください。(子どもと地域をつなぐサポートセンター糸:城間)

## 「電動車いすの高さから写し出す風景!!～おっさん二人の写真展～」

「電動車いすの高さから写し出す風景!!～おっさん二人の写真展～」が、去る6月1～2日の2日間、県立図書館にて開催されました。(左・友利敏幸さん/右・喜納盛安さん)2人とも生まれつき障がいを持ちながらも、電動車いすでいろいろな場所へ行き、友利さんは左足で、喜納さんは口で、シャッターを切っています。今回、生誕50年記念と、自分たちが活動している様子を見てもらい、『少しでも障がいによる隔たりのない社会になってほしい』との思いも込め、写真展実行委員会を発足。今回は数ある作品の中から計20点を展示。トークショーでは生い立ちや日頃の生活の様子も公開し、大盛況に終わりました。

来る9月20～22日には、県立博物館・美術館でも写真展が開催されます!皆さん、ぜひ足を運んでみてください♪(ゆいゆい:福仲)





**ふれあい福祉相談室** (貸付に関する事等) ☎857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。また、人権困りごと相談・行政相談・保育サポート相談室を新設しています。(秘密は厳守で相談は無料です。)

- ①生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付
- ②司法書士専門相談 毎月第2・第4金曜日の午後2時～午後4時(予約制)
- ③人権困りごと相談室 毎月第4金曜日の午後2時～午後4時
- ④定例行政相談所 毎月第3金曜日の午前10時～12時

那覇市障がい者生活センター **「ゆいゆい」** ☎891-8454  
FAX 857-6052

在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。

- 在宅福祉サービスの利用援助
- 社会資源を活用した支援
- 社会生活力を高めるための支援
- ピア(同じ仲間)サポート
- 障がい者居住サポート
- サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター **日常生活自立支援事業** ☎857-4525

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分で、在宅にて生活している方々を利用対象者としています。専門員が相談を受けて、それから契約の成立となれば生活支援員がお手伝いします。

**ボランティア活動・行事用保険の問い合わせ** ☎857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任を補償します。

**居宅介護支援事業** ☎891-8236

安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援をおこないます。

**デイサービス あしびなー** ☎859-8383

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

**ホームヘルプステーション わかば** ☎859-8383

- 訪問介護 ■総合事業
  - 障がい福祉サービス
- ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。

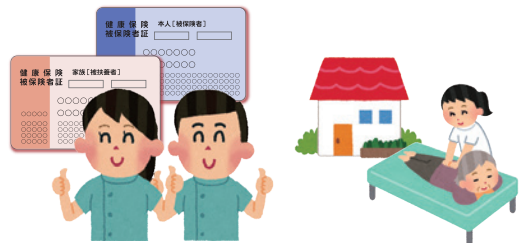


あなたの町の訪問治療院

**ご自宅や介護施設まで出張施術します!**

**病院と同じで  
医療保険  
療養費  
支給申請  
ができます!**

※保険治療には医師の同意が必要になります。



**沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。**

**琉球治療院** 沖縄県内全域で出張施術します。

はり・きゅう・マッサージ  
年中無休 9:00~18:00



**0120-680-006**

✉ mail info@ryukyu-chiryoin.com 🌐 H P http://www.ryukyu-chiryoin.com/

**スタッフ募集中**

- あん摩マッサージ指圧師
- はり師 ●きゅう師

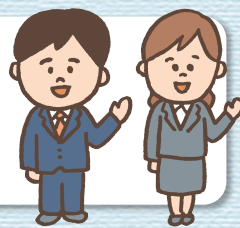
向上心を持ち、成長を常に意識している方を  
お待ちしております。



# ボランティア募集

☎098-857-7766

ボランティア活動希望の方は、ボランティアセンターへの登録と活動保険加入をお願いしております。



情報の見方 ①活動内容 ②日時 ③場所 ④駐車場 ⑤人数 ⑥条件 ⑦備考 ボランティア担当:神田・高橋

## 1. 那覇市放課後子ども教室のボランティアスタッフ募集

放課後の時間帯に、子どもたち(主に小学生)に対して、三線や将棋などを教えたり、学習支援やスポーツの見守りなどを行います。様々な分野の講座があります。

- ①三線や将棋などを教えてくれる方、また学習支援やスポーツの見守り
- ②5月～令和2年2月 15:45～17:45 ※週1回程度 ③金城小学校もしくは安謝小学校 ④要確認 ⑤1～4名 ⑥なし
- ⑦1.募集依頼元:那覇市教育委員会 生涯学習課 2.謝金:1回あたり740円 3.保険:スポーツ保険加入
- 4.問い合わせ先:098-917-3509 担当:長嶺

## ボランティアBOX取組団体(先月受付団体)

1 株式会社 国際重機	3 那覇市役所 こどもみらい課
2 繁多川市営住宅自治会	4 那覇市保健所 ※順不同

## 「訪問型サービス」従事者と生活支援サポーター募集

那覇市社協では、市内の高齢者宅で掃除などの家事援助を担うボランティア「生活支援サポーター」と、清掃や洗濯、買い物、調理などの訪問介護サービス(食事や着替えなどの身体介護は行いません)を提供する「訪問型サービスA」の従事者を養成する講座を開いています。少し空いている時間をボランティアや支援に使ってみませんか。養成講座はいずれも受講料無料で、対象は18歳以上の市内で活動できる人です。興味がある人は気軽にお問い合わせください。

- 生活支援サポーター養成講座 7月10日(水)10～12時、県総合福祉センター4階研修室  
7月31日(水)10～12時、小禄老人福祉センター(かりゆしうるく)
- 訪問型サービスAの養成講座 (予定)9月25～27日(水～金)、県男女共同参画センターにいる  
担当:生活支援コーディネーター・浦崎

## 平成30年度 那覇市社協フードドライブの報告とお礼

日頃より那覇市社会福祉協議会で行っております「那覇市社協フードドライブ」活動へのご支援を頂きまして、感謝申し上げます。

昨年度は賛同頂いた企業様(第一生命保険株式会社 那覇支社各オフィス・カーブス沖縄各支店)からも沢山の支援を頂きました。(ホームページにも掲載)

市民の皆様より、昨年度に頂きました食料品や調味料等につきましては、大切に必要とする世帯や団体等にお渡しする事が出来ました。

支援のご報告につきましては、下記の表にて報告させていただきます。

※今年度も引き続き、食料品等の寄贈へのご協力をお願い致します。

### 平成30年度 寄贈(合計) 160件 3,776品

主な寄贈活動	寄贈先件数	食料品等数
那覇市協第5回フードドライブ	46件	1,134品
那覇市協第6回フードドライブ	10件	119品
第8回うるく童まつり	24件	296品
その他の寄贈分	80件	2,227品

### 平成30年度 提供(合計) 196件 3,536品

相談件数	米	缶詰	麺類	レトルト	その他	合計
196件	112	755	934	618	1,117	3,536品



## 寄附者ご芳名

平成31年2月16日～令和元年6月19日までの寄附金状況(敬称省略)

4,754,125円

### 一般寄附

・(株)いなんせ典礼・ナザレ幼稚園・平良博子・AAなはグループ・上間自治会・サザン会実行委員会・沖縄県酒造協同組合・仲里政幸・JAおきなわ小禄支店・宇栄原小学校PTA・第10回チャリティカラオケ実行委員会・第35回芸能チャリティ公演実行委員会・上地武昭・宮城美笑子・JAおきなわ真和志支店・榎本義晴・沖縄パイロットクラブ・狩俣恵次・沖縄ライオンズクラブ・コザ信用金庫那覇支店・金城清子・金城ツル子・税理士法人那覇中央会計・脳外科クリニックだ・匿名・国場川こいのぼりまつり実行委員会

### 香典返し

・仲村家治(故父 正治)・嘉数芳子(故夫 栄篤)・森田加代子(故母 山城トヨ)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金総額 8,194,422円